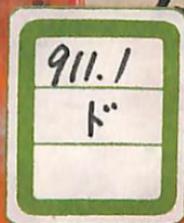


道歌百人一首集抄全

911.1  
下



道歌百人一首集抄全

嘉永七年 甲寅年

嘉永七年 百人一首

川原町百人一首

川原町

嘉永七年

大正

加納京極黃門御所の少倉万首年

御所にて緒宗名徳客とみまをを

河川ありしをいふ秀次をを

高しきみまゆけををあまはつ一時乃

眼ををいふあましりて 讃伊

無事同くはるる出と也



行基菩薩

和州菅原寺園基本朝橋ノ御少輔之  
法相宗聖武帝ノ皈依僧

山鳥也

あまのくるとり

あまのけり

又うまのけり

けりうまのけり

檀林皇后

御偉翁御子  
嵯峨帝皇妃

とほののり

あまのけり

あまのけり

あまのけり

中将姫

横峯若倉  
豊盛之女  
諱八法如  
和智宮ノ后

あまのけり

あまのけり

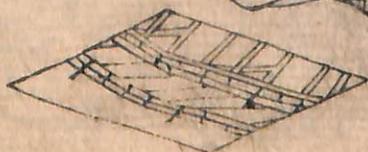
あまのけり

あまのけり

あまのけり

あまのけり

あまのけり



傳教大師

名八景澄本朝天台ノ祖  
比叡山開基

レハのせら

いのりおむ

サハの

アハの

ハハの

弘法大師

名八景海東朝真言  
始祖萬野山開基

アハの

ハハの

サハの人の心を



蝉丸

姓氏不詳仁明帝  
治世逢坂山ニ隠道ス

サハの中を

ハハの

アハの

ハハの

名八景仁台嶺楞伽院  
開基最良法師ノ人

アハの  
ハハの  
サハの



智達大伴 名八圓泰三井寺開山

清のあきしり身ぞ

仲も仲張 あともみま

慧慧僧正 名良源傳教師 曼孫之元天師十傳

あきしりま あきしりま

あきしりま あきしりま

あきしりま あきしりま



光也上人 名光勝洛東六波羅寺開山 本朝称名祖世三市六下修

あきしりま あきしりま

あきしりま あきしりま

あきしりま 洛東程林寺 開山三海 達也兼テ 称名門

あきしりま

あきしりま

あきしりま

あきしりま

あきしりま



あゝん 信都

名良源信敷 岳横小住又  
慈覺僧正ノ白入

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

安養尼

恵心僧都内珠之和州某地  
居シテ一向専念道ヲ勵ム  
又恵心ニ芳之ト云

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお



骨鏡上人

任初根來山開基興言新勢祖  
自義大師ト云ス生身不動体ヲ現ス去

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

増賀上人

初台嶺在テ慈恵  
僧正ニ侍ス后和州  
談岑ニ隱栖ス

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお

あもまろつ 伊のきお



性空上人

播州書寫山三住入  
■惠僧正ノ口人

かきうまひしんびん

さくもやうろく

二仰の中

あつたか

和泉式部

大江推致女上東山院を唐土  
弁内侍宅大性空上人二見エ  
テ深ク公理ヲ得タリ

はのりハまげりり

うごりや

あまの



西行法師

名八田佐俗称佐佐木清朝建北面主之  
魂世シテ侍国ノ行脚ス

あまの

あまの

あまの

和上

名慧因大僧正云々  
座主后洛東ノ吉水  
二居ス

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



和泉式部

弁内侍上皇大性空上人見  
テ深ク仏理ヲ得タリ

法のりのまにハままけけりり子こ

ううざざりりやや和わ行ぎょうささりり

紫むらさのの名な女め



西行さいぎょうはは竹たけ

名八田佐俗称佐藤寛清朝臣北面主之  
璽シテ侍国ヲ行脚ス

牛うし乳ちゆう搾さくるるままりり

了りょうるるんん 和わ上じやう

トと名なををセセリリ

名八田會正丞  
室主后洛東ノ吉水  
二居ス

和わ上じやう

和わ上じやう

和わ上じやう

和わ上じやう

和わ上じやう

和わ上じやう



隆寛律師

洛東長興寺住ス  
源空上人上足

ぶぶくみね  
あき母の  
あまときさくべむ

あまのくみふ

あやまらむ

法教上人

名、源空、末、朝、念、佛、宗、始  
祖、光、東、謝、巖、宗、師、常、禪

地方本教のそと

上益ス

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの  
あまの  
あまの



あまの

あまの

あまの  
あまの  
あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの  
あまの  
あまの

あまの

あまの

あまの

あまの







法燈田所

名、覺心号、心地允洲  
由良兵衛寺、所山

おのりうらふも  
すまがら

かきもよきん

蒙ふまのつまげ

はかばか

大覺後所

名、八道隆号、八崩溪  
鎌倉建長寺、所山

あつてもよきん

おとこしん

若熱とも

わびざりちま



法心上人

名、雅才、松島田福寺、所山  
休身、国所、下、船、ス

あつてもよきん

おとこしん

あつてもよきん

佛國は所

名、六眼、日号、八高峯、下  
野那須、雲岩寺、所山

おとこしん

あつてもよきん

おとこしん

あつてもよきん

あつてもよきん





如大禪尼 無外ト号ス俗稱千代野  
平安員愛寺開基

子代野と つとも

つづく梅の あす

る あす

小條相摸守平時軒

寂明寺道崇ト号ス

寄 あす

整 あす

く あす



大燈国師

名ハ妙超号東家  
洛北大徳寺開山

名 あす

の あす

の あす

は あす

夢 あす

名ハ疎石洛南天徳寺開山  
世三朝国師ト稱ス

の あす

の あす

の あす





楠河内判官橋正成 橋正成今齋撰河泉太守  
建武四年二月死

仁とらぬと勇者とまき

いよゝゝ人焼 大物

万葉小路中納言藤房卿

藤房卿  
藤原房男忠康用三十九年功徳  
后醍醐師法ヲ師テ授翁宗廟ト事ス

すみぢる者

いづれ人

いづれ人



寂室和尚 名ハ元光江州高野永徳寺開  
田光揮師ト云ス

然るに人

いづれ人

いづれ人

月菴法師 名京鬼頭大明寺開  
正續大檀師ト云ス

枯果と云

いづれ人

いづれ人



まのり上人 洛陽極樂寺住僧  
大相国兼雅公親信僧

功戦の能然りて其の  
科人と云ふ事も此の

志の 科あり  
科あり  
科あり

向阿上人 證授上り洛陽  
淨華院住僧

せひふりあつもの  
うまきせかくじ物よ  
まみぢくたのそや



隆堯法印 始台横三登りて其教流し學后  
江別堂三退之向專念ヲ旨トス

科しんを佛也  
てせももろ

ほのぬき  
後よりしふ

音卷上人 觀蓮社ト云ふ東山増寺住僧  
法向時大車ヲ感テ往生ス上  
ノ哥其時ノ口号ナリト云々

中ももろ人  
やむむ

小車よりのやて

ワガわしむ



大空下寺 弘明浄眼寺 因公 通治性 禅師 益ス  
 皇天大神宮 現獲テ 師三天 今受テ 益

快りも 幸なり

世とすつる人のあらま

かたよしとてがゆ

正徹書記 清若寺 重福寺中 栗林 登屋

去ぬる ぬのうと

し 秀のちのづひお

そのまゝ

とみらよとみら

くわんひのま



省快僧都 高野山在ス

く 後げけひが

誠とほれ 始の

ひのちうち

人をと

公朝僧正 三井寺在ス

修もはま

やま

ちうち

まらひーほの

ころろ



蓮如聖人 名六兼壽大僧都信澄院下号  
 親鸞冥り七世

一びも併とよの心

まことのけり  
 うまゝなれ

一休和尚 名六宗純 事跡世々

釈迦と  
 おくの  
 人

ま  
 す  
 女  
 出



龍宗和尚 名六建仁在る城山 新君内始又師參下トキ

よく住まへ

うまゝに

ま  
 古

蝶川親當 北面土和尚及ヒ 書ヲエトニス

ま  
 白

ま  
 の

ま  
 都



不見  
量在

建仁雄長老

名ハ永権号ハ英甫  
詩聯各狂哥兼人

通世のそんとき代よ

うさかえしむし  
のさるけい  
会らぶ

南源春林西堂 傳考

ふくしむしむし

つをふふの  
うさかえしむし

うさかえしむし



後小松院侍女休母

之をうし  
つるみわゆる

みもり  
さかえしむし

伊まもん

鴨川親當妻

はるまのながし

ちりや

うさかえしむし  
つるみわゆる



太田金吾持資分道灌

中村金丸討つて一秋の旨自と  
又きてさすもとアノミカ

静勝軒号ス上杉ノ  
執政和哥及軍術  
ニ達ス

かたきとらばをすの

つとてしききと

おれいまぶら

武田法性院大僧正信玄

甲信二州大守且テ禪法ヲ信ヌ  
難發シ道号ヲ撒山ト号ス

人城人こりり人

かすけの味もろいん歌なり



貞山上人

名ハ應真高野山木食ノ行者  
豊臣大將ノ依僧

とやまへん

ほろろん

こが

うせ

千利休

名ハ宗易  
拈毫舟ト号ス

そと

か

あ

く



釋菴禪師

名ハ宗鼓武江品川  
東海寺開山

於人吟誦を不アズク

かろく舟の字よひのるや

人の世中

雲居圓師

名ハ希庵便別松島瑞山寺  
中興開山史悲田滿圓師ト溢ス

何事も

かた くの 教系

あまの

善悪

わさだ



無難禪師

至道ト号ス武江東北寺  
開基愚堂圓師法嗣

舟より見て月小

まきくわを

いづらん

わさ

鈴木正三

俗稱ハ九次夫正三出家  
後得ヲ以テ法名トス  
三州石平山三居ス

秋か

は

ま

は



一 絲子所

名父守丹州法帝洛北靈源  
兩寺用山定慧明孝備頂國師  
ト溢ス

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

鳥丸極光廣郷

鳥有子一号ス一絲國師ト参

狗子ノ話ニ悟入シ五法名乘出

ト新ス

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく



盤珪圓師

名永琢播州細于竜山寺無山  
大法正眼國師ト溢ス

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

梅天祥師

名無明塔熱須原之肥島  
原乱軍ヲリ後思堂國師ニ  
参トテ出家ス

梅子あががふらふら  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく

わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく  
わろくわろくわろくわろく



元政上人

名曰政又妙子或不可思為卓之城南  
深師瑞善開山法華律之祖

法山

かまふとく久

かまふとく久

妙立和尚

名曰慈山台岳  
安樂派之祖

かまふとく久

かまふとく久

かまふとく久

かまふとく久

仲夏和尚

名曰河南判号幼乎或江臨海寺  
開基母法甚甚參禪師之

かまふとく久

かまふとく久

かまふとく久

伊賀之座敷  
凡羅坊ト号ス

かまふとく久

かまふとく久

かまふとく久

かまふとく久



以八上人 名ハ存易別重求西下称之行蓮社  
 行寺ト号ス藝洲光明院開山

身之びりりもいぬ

協攝志

いひ

す衣りゆ

備中和尚 名、[redacted] 隆策  
 檀法林寺住ス

和のけ

ふりり

後生 ひびり

人のびり



安社 名ハ學蓮字長崇奥蓮社ト号ス  
 又守一毎能ト称ス

中

能

み

か

備忍律師 空華老人ト称シ雲蓮社  
 号ス尾州八事山ニ住ス

り

し

あ



鉄眼禅師 名八道光難波瑞應寺  
開基墓ヲ一切経ヲ刻ス

杖からみ地蔵

サキヨク  
カクノリ  
カクノリ

沢水源冲 名八長我東武大住持  
壽百六十余歳

マコト  
カクノリ  
カクノリ  
カクノリ



拙堂和尚 名八知雲別号懷珠  
又紫笛老人ト称ス

寄座

寄座

サカキ  
カクノリ  
カクノリ

天桂和尚 名八傳尊大坂退藏峯  
開基老螺蛳ト号ス

仲

志

志



古月禅師

名ハ柳林山州大光寺三住ス  
本妙廣鑑禪師ト温ス

一昨もいづるもたはじし

いづるもたはじし

くはるもたはじし

白隠和尚

名ハ慧鶴駿州松蔭寺三住ス神  
換独姉禪師ト温ス

泉の清涼よりて  
一夜大教をよみて

くはるもたはじし

いづるもたはじし

くはるもたはじし



上賞茶翁月海

名ハ元昭後高才雄トシ遊外多ク

いづるもたはじし

いづるもたはじし

いづるもたはじし

涌蓮法師

一内門ノ徒ニ其宗ノ母衆ヲ  
申トスル者ヲ憎ミテ俗世ヲ  
ガニ跡ヲカクス

いづるもたはじし

いづるもたはじし

いづるもたはじし

いづるもたはじし





仙川原町  
大正  
三月



大正九年三月

三月廿七日

